

建築学科 建築コース カリキュラムマップ 2026年度入学生

科目群の学習・教育目標		
計画・設計系	建築史	建築と人間との関わりを歴史を遡って学び、それらを生み出した社会構造を背景として考えることで、時の流れを超えてグローバルな視点から現代建築についてより深く理解する基盤を築く。
	意匠	〈空間〉や〈構成〉といった概念及び分析手法を通して、表現の対象としての建築のあり方を理解すると共に、設計として実践するための基礎的な能力を身につける。
	計画	建築や都市・地域における空間や環境に対する使い手の視点に基づいた分析・評価を通して、建築設計や都市・地域の計画を支える知見や条件を提示・提案する基礎能力を身につける。
	設計製図	計画・意匠・構造・材料・環境・設備といった建築学の各分野における知識を統合し、調和の取れた建物として空間化するための構想力、思考力、表現力を身につける。建築空間を正確に表し、意図を伝達するための図面表現力を身につける。
環境・設備系	環境	建築環境工学の基本となる、熱・湿気・光・色・空気・音・水等の各分野・項目を対象として、建築計画を実施するために必要な定量的評価のための物理的原理を理解し、計算手法を習得する。
	設備	建築設備における空気調和・衛生および電気設備に関する装置とシステムを学び、建築設備の位置づけと法体系、問題点を理解し、基本的な設計手法を習得する。
	実験・演習	音・空気・光・熱・水等の建築環境分野・項目を中心として、測定や実験を通して、基礎的な原理や測定法についての理解を含め、測定・解析、評価の手法を習得する。
構造・材料系	構造力学	外力などにより発生する建築部材の応力や変形、および反力などの計算ができるようになり、安全な建築を実現するために必要な力学的現象を把握できる。
	実験・演習	一般的な構造材料である木材、鉄骨、コンクリート等を用いた試験体を製作し、加力装置も扱えるようになる。実験とデータをを用いた演習を通して力学的な性質を検証できる。
	材料	床・壁などに用いられる各種建築材料や、コンクリートを始めとした各種構造材料の基本的な性質を学び、建築設計・施工に関わる建築材料の基本事項を習得する。
	各種構造	構造材料の特性を理解したうえで、それらの特性が反映された各種構造でどこが重要ポイントかを踏まえ、各種構造の構造設計ができる。
実務・職業関連	カレッジマイスタープログラム	建設プロジェクトの企画・設計から、実施・完了までの一連の工程を通して、計画実現に向けたチームによる課題解決方法やプロジェクト運営方法を修得する。
	実務建築士	建築の実務で重要度の高い実践的知識を学修し、習得する。
	情報	専門科目の学修・研究等に必要、コンピュータを用いた表計算やプログラミング、表現技術を身につける。
	導入キャリア	大学で何を学ぶのか、将来の夢や職業を実現するためにどのような専門性を身につけるのか、より具体的にイメージできる。

1 年		2 年		3 年		4 年	
春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
建築入門＊①	建築のしくみ＊②	近代建築史②	西洋建築史②	日本建築史②	世界遺産とアジアの建築②	卒業研究Ⅰ＊④	卒業研究Ⅱ＊④
				空間構成論②	住宅史②		
					現代建築論②		
	建築計画Ⅰ＊②	建築計画Ⅱ②	建築計画Ⅲ②	建築計画Ⅳ②	建築作品と設計手法②		
				建築基準法と都市計画②	まちづくりと地域計画②		
	建築表現＊③	建築設計Ⅰ＊③	建築設計Ⅱ＊③	建築設計Ⅲ＊③	建築設計Ⅳ＊③		
	建築図法②	建築CADⅠ②	建築CADⅡ②	建築設計Ⅴ＊③			
				建築環境デザイン②			
	環境計画＊②	環境工学Ⅰ②	環境工学Ⅱ②	建築設備②	電気設備②		
		実験・演習		建築環境実験演習＊③	環境設備演習＊②		
構造計画＊②	構造力学・演習Ⅰ＊③	構造力学・演習Ⅱ③	構造力学・演習Ⅲ＊③	構造力学・演習Ⅳ＊③		2026 学生便覧	
			構造・材料実験演習＊③				
	建築材料②			構造工学演習②			
		鉄筋コンクリート構造②	鋼構造②				
		木質構造②					
	建築工房Ⅰ①	建築工房Ⅱ①	建築工房Ⅲ①	建築工房Ⅳ①			
		建築法規②	施工と監理②	建築積算②			
	情報リテラシー＊②	データサイエンスとAI入門②	情報処理②				
フレッシュアーズセミナー＊①	学科探求セミナーA＊①			インターンシップ・キャリア工房②	※夏季集中		

＊：必修科目(32単位) ＊＊：選択必修科目(8単位以上)